

「生物多様性保全活動の推進」を加えた、 新・環境重点テーマを力強く進めていきます。

富士通フロンテックグループは、気候変動問題や生物多様性保全など企業をとりまくグローバルな環境問題の動向や富士通グループの環境方針及び中期環境ビジョンに基づき、「富士通フロンテックグループ環境行動計画」を策定し実践しています。

2009年度までの実績を踏まえ、第6期(2010年度～2012年度)では新たに4つの環境重点テーマを策定しました。

1 お客様・社会の 環境負荷低減活動の強化



2010年度から、より厳しい基準を設けた「スーパーグリーン製品」の割合を全開発製品の30%以上とし、省エネ・省資源など環境性能にすぐれた製品の提供を強化していきます。

また、「環境ソリューション」の開発と提供は、産業・運輸・業務・家庭・エネルギー転換をはじめ社会のあらゆるところで拡大推進していきます。

これにより、日本国内のみならず、グローバルにお客様や社会の環境負荷低減に貢献していきます。

2 地球温暖化対策など 自らの環境負荷低減活動を強化



従来のエネルギー消費CO₂(主に電力使用量)排出量に限定した削減活動から、すべての「温室効果ガス(GHG)排出量」に削減対象を拡大し活動強化していきます。

また、物流・輸送CO₂排出量の削減をはじめ、揮発性有機化合物(VOC)の削減や廃棄物発生量の削減も継続的に推進していきます。

さらに今後は、CO₂排出抑制・削減の取り組みを実施するお取引先からの調達も推進していきます。

3 環境経営基盤の強化



富士通フロンテックグループのグローバル統合環境マネジメントシステムを最大限に活用し、今まで以上に国内外すべての事業所の環境パフォーマンスの向上を図るとともに、質の高い効果的な環境マネジメントシステムを構築し継続的に改善していきます。

また、これからも 環境に関するステークホルダーとのコミュニケーションを推進し、環境経営基盤の継続的な強化を図っていきます。

4 生物多様性保全活動の推進

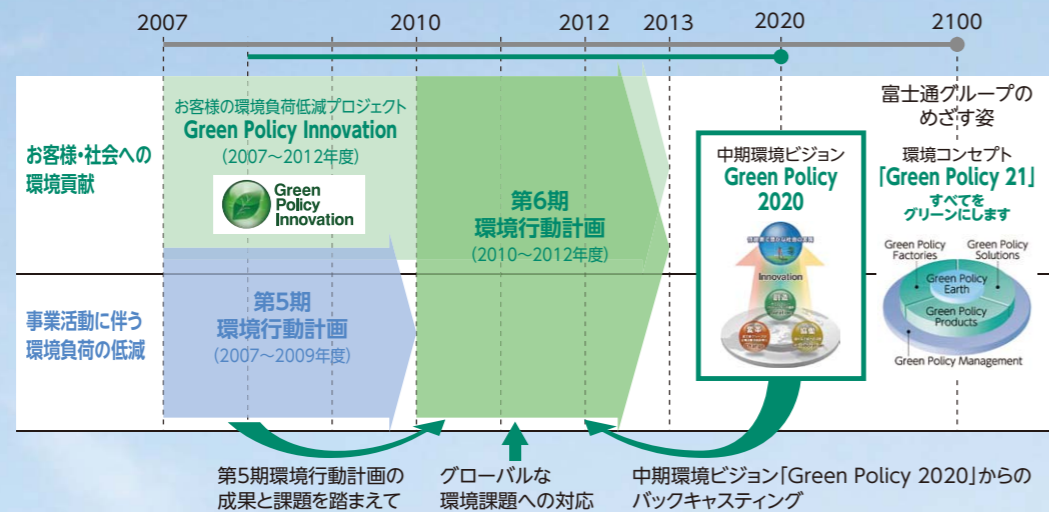


「生物多様性保全活動の推進」を2010年度から新たに設定しました。自らの事業活動における生物多様性への影響低減と保全を目指し、富士通フロンテックグループの各事業所でさまざまな施策を実行していきます。

また、生物多様性保全の取り組みを実施するお取引先からの調達を推進することで、生物多様性の保全を実現する社会づくりへ貢献していきます。

あわせて、従来よりグローバルに実施している環境社会貢献活動も、行政をはじめ各種団体との連携を強化しながら継続的に実施していきます。

富士通フロンテックグループ 第6期環境行動計画のコンセプト



第5期環境行動計画

- 重点分野
- 製品・サービスの環境価値向上
 - スーパーグリーン製品の開発
 - 環境効率ファクター向上
 - 環境貢献ソリューションの開発
 - 地球温暖化防止対策
 - エネルギー消費CO₂排出量の削減
 - 物流・輸送CO₂排出量の削減
 - VOC排出量の削減
 - 廃棄物発生量の削減
 - グループガバナンスの強化
 - 本業パフォーマンス向上
 - グローバル統合のEMS推進
 - リスクマネジメントの強化
 - グリーン調達の推進
 - コンプライアンスの徹底
 - 環境社会貢献
 - 環境経営報告書の発行
 - 環境美化活動・ボランティア活動等の推進
 - グリーンファクトリー/グリーンオフィスの推進

第6期環境行動計画

- 重点分野
- お客様・社会の環境負荷低減活動の強化
 - スーパーグリーン製品の開発
 - 環境効率ファクター向上
 - 環境負荷削減度達成 **【新規】**
 - 環境貢献・配慮ソリューションの開発
 - 環境貢献・配慮ソリューションの商談登録拡大 **【新規】**
 - 地球温暖化対策など自らの環境負荷低減活動を強化
 - 温室効果ガス(GHG)排出量の削減 **【強化】**
 - 物流・輸送CO₂排出量の削減
 - お取引先のCO₂削減の推進 **【強化】**
 - VOC排出量の削減
 - 廃棄物発生量の削減
 - オフィスでの改善 **【強化】**
 - 環境経営基盤の強化
 - グローバル統合環境マネジメントシステムの継続的改善 **【強化】**
 - 内部監査の質向上 **【新規】**
 - ステークホルダーとのコミュニケーションを通じた環境経営の推進 **【強化】**
 - 生物多様性保全活動の推進
 - 自らの事業活動における生物多様性への影響低減 **【新規】**
 - 生物多様性保全活動の推進 **【新規】**
 - 環境社会貢献活動の推進

Green Policy 2020

- 3つの目標
- お客様・社会全体への貢献
 - 自らの変革
 - 生物多様性の保全

理念

富士通フロンテックグループは富士通グループ環境方針を遵守し、「環境にやさしい企業活動」を基本理念として、環境保全への取り組みが経営の最重要課題の一つであると認識し推進します。持てるテクノロジーと創造力を活かし、社会の維持可能な発展に貢献します。また、事業活動にかかわる環境法や環境上の規範を遵守するとともに、自主的な環境保全活動に努めます。

さらに豊かな自然を次の世代に残すことができるよう、すべての組織と一人ひとりの行動により先行した取り組みを継続していきます。

行動指針

- 1 製品・サービスのライフサイクルを通じ、すべての段階において環境負荷を低減する。
- 2 IT製品とソリューションを通じ、お客様や社会の環境負荷低減と環境効率の向上に貢献する。
- 3 活動、製品及びサービスが環境に与える影響を常に認識し、環境関連法規制、その他の要求事項、自主基準等を遵守しCSRを果たす。
- 4 活動、製品及びサービスにかかわる環境影響評価結果に基づき、汚染の予防及び継続的な改善を図る。
- 5 環境方針を実現するため、環境目的・目標の設定、見直しを行い、社員をはじめと関係会社の方々を含む全員参加で一ひとりが環境改善に努める。

重点テーマ

- 1 お客様・社会の環境負荷低減活動の強化
- 2 地球温暖化対策など自らの環境負荷低減活動を強化
- 3 環境経営基盤の強化
- 4 生物多様性保全活動の推進

CONTENTS

| | |
|--|----|
| 私たちの環境重点テーマ—ENVIRONMENTAL PRIORITY THEMES— | 1 |
| ごあいさつ—TOP MESSAGE— | 3 |
| 環境にやさしい製品—ECO PRODUCTS NEWS— | 5 |
| 事業サイクルとマテリアルバランス | 7 |
| 設計ステージ【ソフト】 | 9 |
| 設計ステージ【ハード】 | 11 |
| 調達ステージ | 12 |
| 製造ステージ | 13 |
| 物流・販売ステージ | 15 |
| 製品ステージ【使用・回収・リサイクル】 | 16 |
| 目標と実績 | 17 |
| 生物多様性保全と環境社会貢献 | 19 |
| 環境会計 | 20 |
| 環境コミュニケーション/国内事業所紹介/海外グループ会社紹介 | 21 |

■ 編集にあたって

富士通フロンテックグループは、お客様と社会の期待に応え、お客様と喜びを分かち合うため、ヒューマン・インターフェースに関わる最先端の技術で、ハード・ソフト・サービスによるトータルソリューションをグローバルに提供することを使命としています。本書では2009年度までの第5期環境行動計画の報告と2010年度からの新たな第6期環境行動計画を中心に今後の環境活動を4つの重点テーマを基にわかりやすくご紹介することを目指し編集いたしました。

■ 報告範囲

本報告書に記載した環境パフォーマンスデータは、富士通フロンテック本社・東京工場および新潟工場・大宮ソリューションセンターと、株式会社富士通フロンテックシステムズなどを対象範囲としています。なお、富士通フロンテック本社・東京工場データ中に、株式会社ライフクリエイトおよび関西支店のデータが含まれます。

■ 対象期間

本報告書に記載したデータは、2009年度の富士通フロンテックの環境活動の実績値です。また、一部2010年9月までの考え方や取組み、活動データなどを含んでいます。

■ コミュニケーション(編集後記)

皆様とのコミュニケーションにより環境経営報告書第七号を発行することができました。今後も年1回のペースで発行していく予定です。皆様のご意見を参考にしながら、読みやすい内容となるよう努めてまいります。

発行 2010年12月
発行責任者 経営執行役専務 利根 廣貞
企画・編集責任者 環境管理センター 梅本 順悦